

集会所を活用したコミュニティづくり

清水沢地区災害公営住宅は、平成28年6月末に3号棟、9月末に1・2号棟と老人憩いの家を併設した「集会所棟」が完成しました。この集会所棟を多世代交流の場として積極的な活用を図るため、入居者と周辺地域住民の方々が集まり、「住民意見交換会」をワークショップ形式で開催しました。そこで出されたテーマを基にサークル活動が立ち上がり、住民主体でのコミュニティづくりの活動が始まっています。

また、子どもの居場所づくりのためにも集会所が活用されていますので、ご紹介します。

ふれあいの会

**歌って笑って
楽しい時間を過ごす**



元々は、『お茶っこの会』というサークルで気兼ねなくおしゃべりを楽しんでいましたが、カラオケや昔遊びなども行うため、『ふれあいの会』と改名しました。

ふれあいの会代表の本田さんは、「ラジオ体操で体をほぐした後、演歌やなつメロ、民謡を中心にカラオケで歌って楽しんでいます。また、けん玉やおはじきなどの昔遊びもあるので、昔をなつかしみながら楽しんでいます。準備は大変ですが、自分も参加者もだんだんと元気になってきているので、皆さんに感謝しています。第二の人生として、皆さんが住みやすいと感じ、元気の源となるサークルにしていきたい」と話されました。



ふれあいの会
代表 本田博章さん

にこにこ会

**笑いが絶えず
気持ちが前向きに**



『にこにこ健康教室』として、軽体操のほか、詩の朗読やレクレーションを行っています。

にこにこ会代表の内海さんは、「1回目のワークショップのときに、参加者がずっと笑っていて楽しそうだったので『にこにこ会』と名付けました。ここが最後の住み家になると思うので、みんなと楽しく過ごしたい」と話し、インストラクターの伊藤さんは「まずは、さまざまな人生を抱えた方々の出会いの場と交流が必要でした。そこでレクと朗読・歌などの活動の場を設け、それらの活動を通して交流が深まり喜びが膨らみました。今後、ますます笑いの花が満開となるでしょう」と笑顔で話されました。



にこにこ会
代表 内海なみゑさん



にこにこ会
インストラクター
伊藤義昭さん

日々笑顔会

**特技を生かして
楽しみを共有**



趣味や特技を持った入居者や地域の人々が先生役となって、手芸やお抹茶などを楽しむサークルです。

日々笑顔会代表の角田さんは、市外の仮設住宅で入居していたときに、小物作りサークルの講師をしていたこともあり、日々笑顔会でも小物作りを企画し、参加者に作り方などを教えています。「ワンコインの材料費で楽しめるように心掛けています。材料の準備などは大変ですが、このサークルを楽しみにして集まっていただけのがうれしいです。また、お抹茶の会など小物作り以外では、ほかの入居者などが講師になり、生徒として参加することも楽しいです。手先を使うサークルで、ぼけ防止にもなるので積極的に参加してほしいです」と話されました。



日々笑顔会
代表 角田啓子さん

～清水沢東こどもカフェ～

震災直後から復興支援として、仮設住宅で子ども会やお茶飲み場などの活動をしてきた『えぜるプロジェクト』は、放課後や休日などの子どもの居場所づくりを支援する「塩竈市子どもほっとスペースづくり助成金」を受け、「清水沢東こどもカフェ」を行っています。

▼ゲストをお呼びし、絵本の読み聞かせなどを行いました



えぜるプロジェクト代表山田さんは、「こどもカフェは、宿題をしたり絵本を読んだり自由に利用できる場所です。子どもたちが来たいときに来られる場所、“ほっと”できる居場所にしていきたい」と話されました。



えぜるプロジェクトスタッフの皆さん(後列中央が代表山田みちえさん)



派遣で生まれたきずなが幅広くつながる

災害派遣職員として他県の自治体職員の方が、本市の震災復興業務に携わっています。その派遣元の自治体からは職員派遣のみならずさまざまな形で本市を応援していただいています。

今回はその本市への応援取り組みの一部をご紹介します。

福井県越前市からの寄付

平成24年10月からのべ12人の職員に用地補償・取得業務や災害公営住宅整備に携わっていただきました福井県越前市より、復興支援援助として清水沢保育所と香津町保育所へ畳の寄付をいただきました。

1月17日(水)には清水沢保育所にて贈呈式が行われ、越前市から現在派遣されている、荒木和幸さんから目録が贈られました。



▶「塩竈市の子どもが喜んでくれるように」と越前市から塩竈市長へ目録が手渡されました。子どもたちからは「畳をきれいにしてくれてとてもうれしいです。大切にします。」との感謝の言葉がありました。



▲贈呈式後には、早速畳の上で子どもたちが遊びました。畳の縁はかわいい動物の柄で装飾されています。

福井市の取り組み紹介

平成23年度からのべ7人の職員に学校施設の復旧と新魚市場整備に携わっていただきました福井県福井市では、福井市役所1階ホール内に、本市を紹介するブースを設けています。昨年10月に完成した新魚市場をはじめ、本市の概要や特産品などが分かりやすく紹介されています。



▲福井市役所1階ホール。モニターには塩竈市の紹介映像が放映されています。



▲昨年、塩竈市長が福井市を訪問した際に贈った、記念のレリーフと感謝状が展示されています。



▲塩竈市の紹介スペース。みなと祭の様子なども紹介していただいています。

企画していただいた
福井市職員の方からのコメント



かすや まさよし
紘谷将義さん
(福井市職員課)

職員派遣を通じて生まれた新しいきずなをさらに深め、幅広い分野で交流を発展させていきたいと考えています。これからもうぞよろしくをお願いします。

復興推進課総務係 ☎355-6574

我ら、塩竈応援団！
～派遣職員紹介～



木村雅彦さん
(復興推進課)

派遣元 復興庁
業務内容 用地買収、補償業務
メッセージ 塩竈市の一日も早い復興のために頑張ります！